

重要水防箇所合同巡視を実施

重要水防箇所合同巡視に、直轄沿川3市(能代市・北秋田市・大館市)の首長が毎年参加。



▲能代市長 (H30.6.11)



▲北秋田市長 (H30.6.5)



▲大館市長 (H30.6.22)



能代河川国道事務所長の挨拶(能代市)



一般住民も参加(北秋田市)



パネルと資料で説明(大館市)

参加した市長のコメント

【能代市長】 米代川は普段は穏やかで安らぎの場所だが、いったん流域に雨が降れば大きな災害をもたらす。日頃から備えておくことが重要。

【北秋田市長】 5月18日の洪水では、能代河川国道事務所長とのホットラインにより適切な説明・指示をもらうことができた。しかし、いろいろ準備しても、一人一人の心がけと訓練が必要。

【大館市長】 水防は常時の予測が的確であれば手を打てる。情報共有を密にすることが何より重要。

得られた成果

- 首長自ら重要水防箇所を点検することで、河川管理者と危険箇所の情報共有を図ることができ、今後の出水時の対応(ホットライン等)が円滑に進むことが期待される。
- 一般住民も参加することで水防に対する意識の高揚を図ることができた。

■水防と親水活動が連携した取り組み

直轄沿川3市の首長参加のもと、水防担当者及び地元建設業協会と合同で、米代川でカヌー活動を行っている河川愛護団体の協力により川下りを行い、水上から河川環境、河岸及び護岸の状況を確認し、危険箇所の点検を実施。



▲能代市長(H30.7.31)



▲北秋田市長(H30.8.2)



▲大館市長(H30.7.30)



齊藤能代市長も巡視



北秋田市舟場(ふなば)付近を巡視



福原大館市長も一緒に記念撮影

参加した市長のコメント

【能代市長】川からの視点で点検する貴重な体験。防災・減災に寄与することを願っている。

【北秋田市長】陸上からは確認し難い水際付近の護岸の現状等について、直接目視できるため有意義な取り組みであることを改めて実感した。

【大館市長】西日本豪雨など水害の防災意識の向上を図ることは喫緊の課題。有事の時、それぞれが何をすべきか情報共有を図る一日にしたい。

得られた成果

- 河川管理者、自治体の水防担当者及び地元建設業協会と一緒に川の中から危険箇所を点検することにより、情報を共有することができた。
- カヌー愛好団体(河川愛護団体)の協力を得ることで、協働体制を深めることができた。